

## 平成 27 年度教員免許更新講習実践報告

—専門科目バレーボール—

### The teacher's license update lecture practice report in 2015

—The special subject volleyball—

佐藤 亮輔      杉山 仁志      飯田 周平\*  
Ryosuke Sato    Hitoshi Sugiyama    Shuhei Iida

\* 国士舘大学

#### Abstract

A teacher's license update system was introduced from 2009 April 1st by the formation of the revision teacher's license law in June, 2007.

There was request from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and the Saitama Prefecture school board, too, in the science and it implemented a teacher's license update lecture with fifth time in this year.

In the this report, it implements a questionnaire survey for the volleyball which was implemented as the special subject from the inside at the update lecture which was set about this year (2015) science.

It had a purpose of getting a necessary data from the result in the future of implementing a lecture when. In the future, it thinks that the things such as "making an attendance object clear" become necessary with the step of whether or not "to examine contents" or the participant recruitment.

キーワード：教員免許、更新講習、バレーボール

Key words：Teacher's license, update lecture, volleyball

#### I はじめに

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制度が導入された。

教員免許更新講習は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊厳と信頼を得ることを目的としている。

基本的な制度設計は、終了確認期限前の 2 年間に大学などが開設する 30 時間の免許状更新講習を受講・修了した後、免許管理者に申請して終了確認を受けることが必要となる。

更新講習の受講対象者は、現職教員・教員採用内定者・臨時任用（または非常勤）教員リストに登録されている者・過去に教員として勤務した経験のある者などである。

更新講習を開設できるのは、大学・指定教員養成機関・都道府県教育委員会などであり、担当するこ

とが出来た講師は、大学の教授・准教授・講師または、教育委員会の指導主事などである。

更新講習の内容は、教育の最新事項に関する事項（12 時間以上）と教科指導、生徒指導、その他の教育の充実に関する事項（18 時間以上）であり、受講者の専門や課題意識に応じて、開設する講習の中から選択することとなっている。<sup>1)</sup>

武蔵丘短期大学（以下「本学」とする）では、文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度で 6 回目の教員免許更新講習を実施した。

本報告では、今年度（平成 27 年度）本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。

その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

#### II 調査方法

##### 1. 調査対象

本学で開催した教員免許更新講習の中から、専門科目として設定したバレーボールを受講した42名。

## 2. 調査方法

更新講習終了後、受講生にアンケート用紙を配布した。

記入にあたっては、時間制限をせずに実施した。

講習内容4時限のうち、4時限目の試験を除いた3時限分について、それぞれの時間毎に記入できるようアンケート用紙を作成した。

また、各項目に自由記述の欄を設け、受講生の自由な意見を引き出せるよう配慮した。

回答数は、受講生42名のうち42名（有効回答数100%）であった。

## Ⅲ 結果

### 1. 受講理由

本学で教員免許更新講習を受講した理由を下記の5項目で質問した。なお、複数回答を可とした。

- ①自宅から近い
- ②受講科目に関心があった
- ③現在の教育（指導）に役立つ内容だった
- ④本学の教員と面識があった
- ⑤その他（自由記述）

結果、①15名②22名③11名④20名⑤8名であった（図1）。

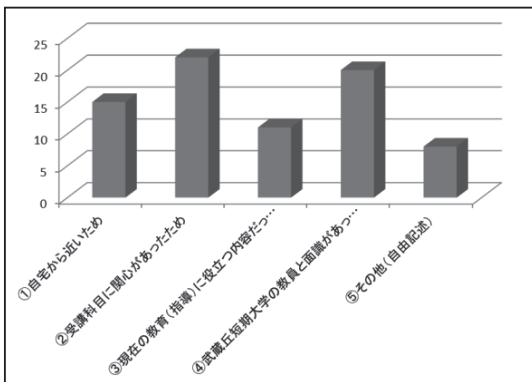


図1 受講理由

なお、⑤その他での記述には、以下のような内容が挙げられた。

- ・これまで参加された先生方に勧められた。
- ・知人の紹介。
- ・同僚の先生の紹介。であった。

### 2. 講習内容

講習内容をそれぞれの時限毎に下記の5項目で質問した。なお、項目選択の理由を自由記述とした。

#### 1) 1限目（講義）

主な内容：指導者の資質及び指導方法

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他（自由記述）

結果、①30名②10名③0名④0名⑤1名※未記入1名であった（図2）。

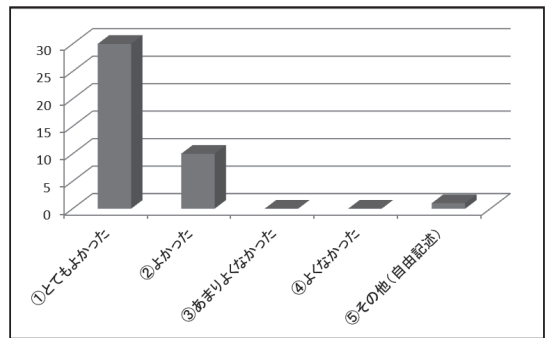


図2 講習内容（1時限講義）

①を選択した理由としては、「共感した」が最も多く11名であった。次いで「指導について再確認できた」「今後の活動の中で活かしたいと思った」「話の内容が興味深かった」などであった。

②を選択した理由では、「感銘を受けた」「今後の活動の中で活かしたいと思った」などであった。

なお、⑤その他での記述には、以下のような内容が挙げられた。

- ・この時間でやるのではなく全体でやるべき内容の気がします。であった。

#### 2) 2限目（実習・実技）

主な内容：レシーブ、トス、スパイク（3段攻撃）における練習方法

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他（自由記述）

結果、① 19名② 23名③ 0名④ 0名⑤ 0名であった(図3)。

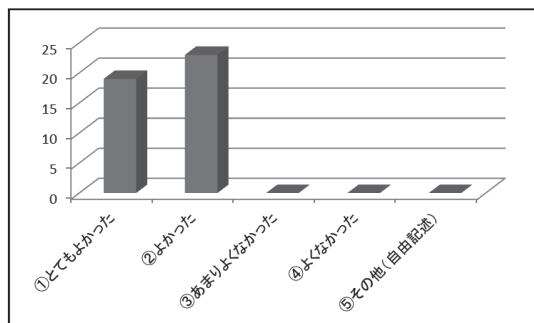


図3 講習内容(2時限実習実技)

①を選じた理由としては、「授業の参考になった」が最も多く9名。次いで「学生が丁寧な対応でフォローしてくれた」が6名。他には「教え子もいて大変楽しくできた」「指導の再確認ができた」などであった。

②を選じた理由では、「参考になった」が最も多く11名。次いで「学生が実際に動きを見せて一緒に楽しくできた」が8名。他には「指導の再確認ができた」などであった。

### 3) 3限目(講義)

主な内容: スパイクスイングにおける理論

- ① とてもよかった
- ② よかった
- ③ あまりよくなかった
- ④ よくなかった
- ⑤ その他(自由記述)

結果、① 27名② 13名③ 0名④ 0名⑤ 0名※未記入2名であった(図4)。

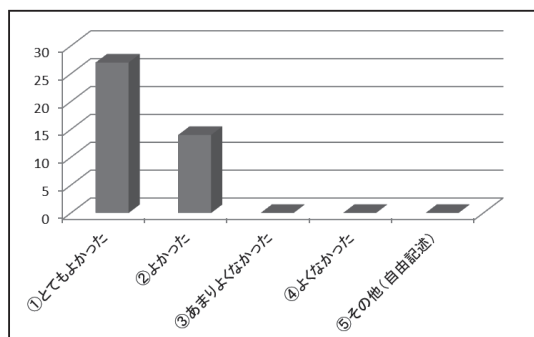


図4 講習内容(3時限講義)

①を選じた理由としては、「今後の指導に活かせるものであった」が最も多く10名。次いで「技能構造が分かりやすかった」「映像があり分かりやすかった」が5名。次いで「自分が担当している種目にも参考になった」が4名。他には「大変勉強になった」などであった。

②を選じた理由では、「大変新鮮に感じた」が最も多く6名。次いで「体幹の必要性、打ち方について勉強になった」が4名。「今後の指導に活かせるものであった」が2名。他には「考えるきっかけとなった」「ジャンプについても聞いたかった」などであった。

### 3. 講習内容

今回の教員免許更新講習(専門科目バレーボール)を受講して、全体的にどのような感想を持ったかを自由回答で質問した。回答の内容は以下のとおりである。

- ・あつという間の1日でした。免許更新の制度がなければおそらく聴くことのできない話、体験したり感じたりできないことだったと思うと、面倒に感じていた講習の制度もありがたいものだと思います。ありがとうございました。

- ・全体をとおしてよく分かりました。お疲れ様でした。もう一度自分自身の考えを整理するきっかけを与えていただきました。ありがとうございました。

- ・学長先生の講演においても指導者のあり方などいろいろ考えるとありました。情熱を持ち指導にあたることを道を開くことだと感じました。生徒と共に頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

- ・教員32年、バレー歴40年をいつのまにか過ごしてきた中で、ルール変更などを機に常に勉強し続けたバレー人生だと振り返ります。先日、第1回春高バレー決勝のDVDを借りることができ、楽しく生徒と共に観ました。時代は変われどいつまでもバレーを愛し、そしてバレーボールを通して出会ってきた方々を感謝しつつながら、今後も出会えた選手(生徒)を大切にしていきたい。

- ・ほぼ毎年バレーボールの単元を教えることが多いので、授業に向けて大変参考になる実技内容でした。今回の実技講習で補助の学生さん達にやってもらったら、更に授業に向けて大いに役立つことになったなと思いました。特に50代の教員はこの暑さだと

動けなくなる分、学生さん達にもっと動いてもらえれば幸いです。ありがとうございました。

・限られた時間の中でしたが、学生の方にもお手伝いいただき、楽しくバレーボールを行うことができました。お忙しいなか、資料の準備や講義等、ありがとうございました。

・授業において、サッカーやバスケットと違い、バレーボールは自分のミス一つで得点が入ってしまう種目なので、苦手と考える生徒が多いです。ですが、円陣パスなどは楽しそうにやります。そのような「好き」だけ「苦手」な生徒たちには、メンタル面や考え方からフォローをしてきましたが、専門家でない私は、技術的なフォローが得意ではありませんでした。今日、学んだことを授業で工夫し活用することで①ミスを気にしない②相手のミスによる得点ばかり期待しない③戦術、攻撃パターンによる得点を楽しめる。ような授業作りをしていきたいと思いません。

・実技では体調をととても気遣っていただきありがとうございました。基本をあらためて学んで、生徒への教え方が変わるような発見があり良かったです。実技、3限目のスパイクを取り入れたものは授業では取り入れ難いですが、話としてはおもしろかったです。

・実技の手伝いをしていただいた学生が真剣にかつ丁寧な教えていただきありがとうございました。

・20数年バレーボールの授業を行ってきましたが、オーバーハンドパスの技術指導でやや間違っていたことにはずかしい気持ちを持ちました。バレーボールの技術練習もネットをはらなくてもかなりの練習法があるのだと実感しました。また、クイックなども生徒が興味をもてそうな事も練習させていただき、今後の授業で活かしていただきたいと思えます。ありがとうございました。

・バレーボールはするの、観るのも大好きで、もっと深く、レベルの高い話もしたかったのですが、高等学校の教師として生徒に教える引き出しを色々教えていただき、今後利用できればと思っています。先生方も色々研究、資料作成等早くから苦労なされたことに深く感謝致します。色々ありがとうございました。

・この講習会については、十分に指導するにあたってのポイントを講義形式で言葉において理解でき、

PPによる視覚で確認でき、それを実技に移せるという点が非常に良かった。時間に追われることなく余裕を持って受講できたことに感謝いたします。ありがとうございました。

・一日とても有意義な講習をありがとうございました。これからも楽しくバレーボールをやっていきなると、初心にかえることができました。

・講義と実技、テストの構成がとても良く、一日充実した内容を学べました。

・力強い打球を打つための具体的練習方法を知りたかった。

・免許状の更新講習なのでもっと授業内容に近いものを教えて欲しい。内容のレベルが高すぎる気がします。また、講義の中で他校の先生達と授業内容等ディスカッションする機会がもっとあればと感じました。

#### Ⅳ 考察

アンケートから、質問項目1の本学で受講した理由では、「受講科目に関心があったため」が最も多い結果であった。多くの教員が専門で行ってきた内容以外の担当となり、指導にあたっての知識、技能を高めたいと考えていることが推察される。次に多かった「本学教員と面識があったため」については、その他を選択した回答の記述において、同僚の紹介が数名あった。つまり、直接的でなくとも本学の教員が、中学・高校の教員と何らかの関わりがあることが講習先に本学を選択した要因となったことが考えられる。次の「自宅から近いため」については、中学・高校の教員が夏休み中であっても激務であり、遠方まで研修に行く時間がないため、自分の母校等より自宅に近い本学を選んだことが推察される。

質問項目2の1) 講義(1限目、指導者の資質及びその指導方法)では、「とてもよかった」が最も多く、次いで「よかった」の順であった。項目選択の理由から、講義内容が受講者にとって有益であったことが読み取れる。また、バレーボールを専門としていない指導者からも同様の意見であったことから、指導者として参考になる内容であったと思われる。

質問項目2の2) 実習実技(レシーブ、トス、ス

バイク（3段攻撃）では、「授業の参考になった」といった意見が多く、①とてもよかった②よかったのみの意見であった。これは、今回受講した先生方が普段の授業でいかに困っていたかが伺えることができ、実習実技を取り入れたことが評価につながったと思われる。また、「学生が丁寧な対応でフォローしてくれた」ことについては、本学学生をデモンストレーターとして、受講者に目で見て分かるようにしたことが評価につながったと思われる。また、「教え子もいて大変楽しくできた」「指導の再確認ができた」など、今年度の講習では比較的参考になったと考える。しかし、1件だけ「基本を教えていただいたのは良いのですが、やはりレベルが高すぎて特に中・高生の女子はとても無理な内容です。もう少し授業に使えるような内容に工夫して欲しい」という意見があった。教員免許更新講習の性格上、様々な分野（高等学校や中学校、小学校）で教員をされている方が同時に受講しているので、専門的な指導法だけではなく、体育の授業（特に出来ない生徒）としての指導法を中心にしてほしいと感じた受講者も今回実際にいた。このような意見が、同様の講習を続けていけば多くなっていくことも考えられるため、今後の課題として検討していく必要性を感じた。

質問項目2の3）講義（スパイクスイングにおける理論）では、①とてもよかった②よかったのみの意見であった。これは、専門科目としてバレーボールを設定したこともあり、専門的な指導を行う上で必要な知識として、スパイクスイングに焦点を絞って行ったことが上記の結果となったのだと考えられる。また、学生時代は専門的に研究等を行うことができるが、教員として現場の仕事に就いたことでその時間を作れない人も多いと思われる。今回の講習がきっかけとなり、その必要性を感じてもらえれば、講習を行った意義があったと考える。

質問項目3（講習全体）では、自由記述とし、多くの意見が寄せられた。受講生それぞれの視点によって言い方は違うが、大半は受講内容が良かったという内容であった。しかし反対に、「初心者や出来ない生徒への指導もしてほしかった」という意見があった。今後、本学において教員免許更新講習を実施していくにあたり、これまでと同様の方法で実施すれば、また同じ意見が出るとと思われる。このような意見に対処していくことも今後の検討課題である。

## V まとめ

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により平成21年4月1日から教員免許更新制が導入された。

本学では文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度で6回目の教員免許更新講習を実施した。

本報告では、今年度（平成27年度）本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

受講内容では、「とてもよかった」、「よかった」が多くの意見であった。しかし、今年度の講習では昨年度の講習に比べ、「初心者や出来ない生徒への指導もしてほしかった」などの要望が少なかったが、今後、本学で教員免許更新講習を行っていくうえで、「講習内容の検討を行う」か、あるいは受講者募集の段階で「受講対象者を明確にする」といったことが必要になると考えられる。

また、「講習内容の検討」を行ううえにおいても、専門科目においては、「専門性を強調し、高度の内容を実施していく」のか、「現場の授業での初心者向けの内容を中心とする」のかを考える必要がある。その「現場の授業での初心者向けの内容」の講習を行うにしても、「中学校」が対象なのか「高等学校」が対象なのか、「男子」が対象なのか「女子」が対象なのかといったことも検討していく必要があると考えられる。

そして、本報告を含めてアンケート調査を過去5回実施しており、来年度も実施を予定し、各年度における比較・検討及び、追跡調査も必要と考える。本報告では、以上の点を検討する必要性を示唆する資料となった。

## 【参考文献】

- 1) 文部科学省ホームページ：教員免許更新講習

